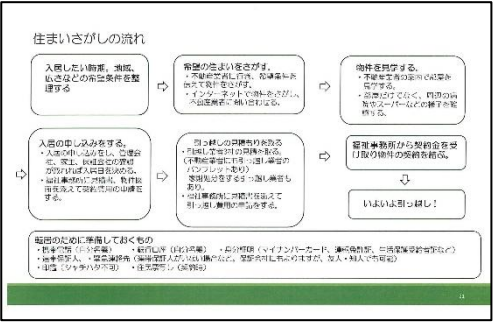


令和8年度 埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会

第1回 推進連絡会議

実施日	7月28日(火) Zoomによるオンライン	 生活困窮者に対する居住支援について 公益社団法人埼玉県社会福祉士会 齊藤 さゆり
参加者	65 名 (推進協会員施設・社協)	
講義	一般社団法人埼玉県社会福祉士会 齊藤さゆり氏	

講義の様子

内容	
一般社団法人埼玉県社会福祉士会 住宅 SW 事業副統括責任者の齊藤さゆり氏を講師にお迎えし、「生活困窮者に対する居住支援について」をテーマにご講義いただきました。 講義では、「住まい」と「住まう」の重要性や住宅セーフティネット制度の概要をはじめ、住宅ソーシャルワーカー事業による転居支援・入居後の伴走支援、住まいさがしの具体的な流れや事例についてわかりやすくご説明いただきました。 生活困窮者にとって住まいの確保と維持は自立・生活再建に不可欠な基盤であり、支援者が介在することで物件確保や地域定着につながる重要性、制度や社会資源を活用した実践的なアプローチについて理解を深める機会となりました。	
	 資料抜粋
参加者の声	
・住宅セーフティネット制度や住まいさがしの流れ、住宅ソーシャルワーカーの具体的な業務内容について詳しく学ぶことができ、大変勉強になりました。 ・貸付業務等の中で家賃滞納や強制退去などのご相談が多く、対応に苦慮していましたが、参考にできる点や活用できる情報が多く、今後の相談支援にぜひ活かしていきたいです。 ・支援者が入ることで物件が見つかりやすくなることや、高齢単身者でも借りられる賃貸の選択肢があることを知れて良かったです。 ・人が健康で人間らしく生活するために家屋の確保は不可欠ですが、契約までのハードルの高さや難しさも実感しました。近隣の住宅困窮者への支援や今後の事務の参考にさせていただきます。	